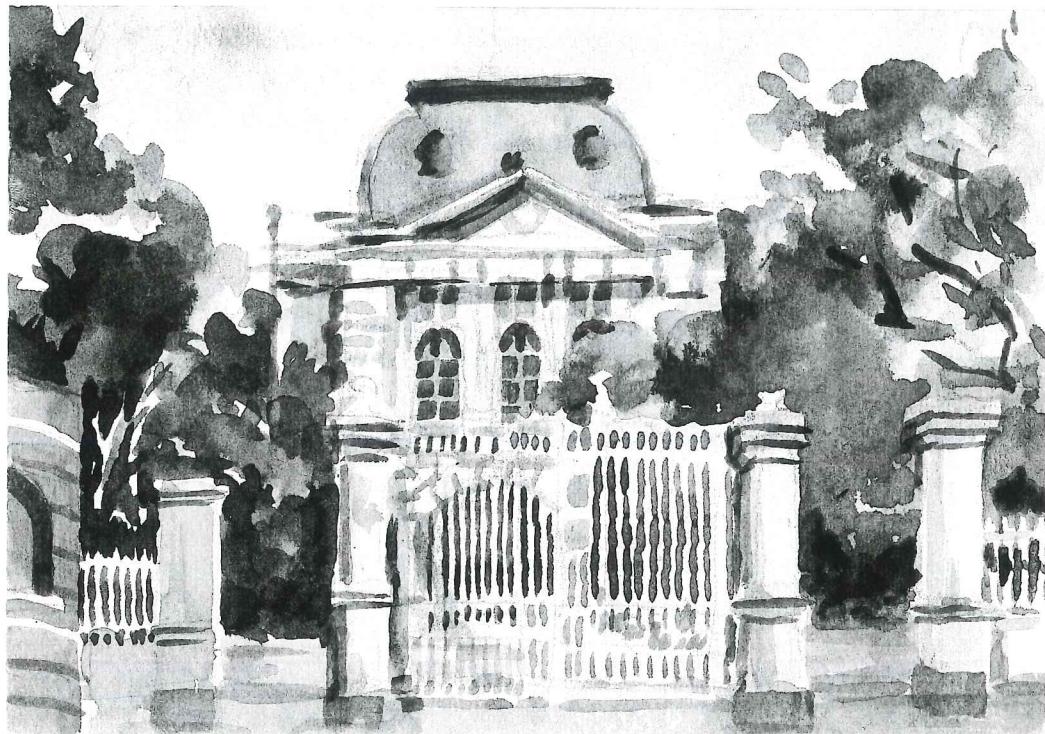


特集 前近代のひょうごの風景



317

AUG

2016

平成28年8月1日刊

●定価は税込です 好評発売中

尼崎百物語

尼崎に伝わる神話・伝説・妖怪伝承などの「不思議な話」100話。市制100周年記念書籍。
大江篤・編 ●定価1,944円

京都・大阪・兵庫 七福神めぐり

昔も今も、善男善女の願いの拝り所となっている七福神。三府県を巡る48コースを紹介。
藤村郁雄・著 ●定価1,728円

姫路藩の名家老 河合寸翁

著政改革と人材育成にかけた生涯

江戸後期、破綻寸前の姫路藩を再生し、幕末明治に活躍する人材を育てた寸翁の人物像。
熊田かよこ著 ●定価2,268円

ラジオ関西 10万枚のレコード物語

あの感動をもう一度
人気番組「電リク」で親しまれた“ラジ関”が秘蔵
する、洋楽の名曲・名盤ヒストリー。
今林清志・著 ●定価1,944円

神戸新聞総合出版センター 〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7 神戸情報文化ビル9階
TEL 078-362-7138(販売) FAX 078-361-7552

神戸新聞のホームページで全書籍が見られます▶ <http://www.kobe-np.co.jp/syuppan/>

編集後記　巻頭言で中島豊さんの自費出版を紹介したが、今回の号にも湊川の付け替えの原稿を掲載した。随分前に投稿いただいたが、いろいろ事情が重なって掲載を先送りしてきた。やっと宿題を果たせた。特に戦後七十周年特集を年に三回やったことで、原稿掲載の先送りが続いてきた。申し訳ない。

▼竹村さんの原稿、歌井さんの漢詩からの論考、中島さんの原稿など、今回の号は近代の歴史的景観の復元という点で共通性を感じた。

▼上村さんの連載が終わつた。「個人的過ぎる」との声が一部にあつたが、戦前からの神職の公私にわたる生活史をかくも生々しく描いたものを知らない。案の定、某出版社からの商業出版が決まったという。「売れる」と判断されたのだろう。続けてきてよかつた。こうした下支えをして歴史文化を普遍化することも小説に与えられた大事な役割だと信じたい。

顧問	直木孝次郎
参与	永田 實
委員	有吉康徳
河合英也	
高田祐一	小芝光弘
依藤 保	田辺眞人
(地域委員)	増田行雄
山下 俊郎(明石)	坂田 大爾(小野)
志水 豊章(西播)	細田 昌(伯馬)
武田 信一(淡路)	北上 真生(北撰)
藤川 祐作(阪神)	
創刊・昭和37年8月15日	
会費・年額三千円(1~12月)	
隔月刊・歴史と神戸 第55巻第4号	
平成28年8月1日発行	
編集発行 神 戸 史 學 会	代表 木南 弘
▼編集部	大 国 正 美
会計担当 増 田 行 雄	
電話 (078)7831-1670	
〒 664-0446 伊丹市伊丹2-1-19	
神戸市灘区岩屋町中町3-1-4 田中印刷出版株式会社内	
電話 (078)871-10555	
振替口座 0190-1-0408	

新編 日本歴史と神戸 第55巻第4号
平成8年8月1日発行
代表 木南 弘
神戸市灘区若尾中町11-1-4
田中印刷出版株式会社内
電話(078)871-10555
振替口座 01901-14018
販賣担当 増田 行雄
合 伊丹市伊丹2-1-19
電話(079)783-11670
(FAX兼用)

や塩浜で働く人々の様子が彷彿としてくる。

近隣の俳諧愛好家の作品が大半と思われるが、俳諧の盛んな京・名古屋の俳人の作品もみられる。なかには芭蕉一門の桜井梅室や画家の田能村直入などの有名な文人の作品も混じっていた。交友関係が読み取れて興味深い。

序文に「…今諸四方に諧歌と塩窯及び諸山の望を募り輯め、以つて局と為し…」とあり、塩浜関係に限つてとのボリシーを以つて所収しており塩浜に絞つた作品集は珍しく希少価値は高い。

北浜地方の塩浜の終末期の風景と考えられ、当時の塩浜の様子を知る事の出来る貴重な資料である。

難解な文字が多く解読に手間取りながらコツコツと作業を積み重ねて、振り返れば十年を超える年月が経つてしまつた。先代の故田中英子氏と難読文字に苦労した日々が思い出されて懐かしい。

拙い編集だが埋もれていた歴史の一コマを掘り返し、遠い日の先祖と文人らに、少しはあるが光を当てることが出来たことは大きな喜びである。深く感謝して筆をおきたい。

- (20) 鎌田醉石か。佐賀県知事。明治二十一年（一八八八）歿。
【参考文献】
『百句練乱・俳聖芭蕉を仰いだ人々・近世播磨の俳諧』姫路文学館編・発行（平成十七年）
『北浜小学校創立百周年記念誌』北浜小学校校友会発行（平成三

受贈図書紹介

- ◆ 「兵庫県労働史研究会通信」68号「春闇の結果をどう見るか」福田誠一、など。69号「体験的統一戦線論（第一部）」高島仟、など。70号「労働組合武庫川ユニオン25年の闘い」小西純一郎、など。71号「体験的統一戦線論（第一部）」高島仟山内正明、など。
◆ 「むくげ通信」265号「播磨の古代寺院と造寺・知識集団32近江・滋賀郡の古代寺院―瓦積基壇、輪線文縁軒丸瓦の源流―」寺岡洋、など。266号「播磨の古代寺院と造寺・知識集団33近江・湖南・湖東の古代寺院―渡来系寺院が自立つ湖南・湖東―」寺岡洋、など。267号「播磨の古代寺院と造寺・知識集団34播磨の新羅系及び傍流の軒丸瓦」寺岡洋、など。268号「播磨の古代寺院と造寺・知識集団35寺岡洋、など。269号「播磨の古代寺院と造寺・知識集団36広渡廢寺軒平瓦の「新羅系包み込み技法」」寺岡洋、など。271号「播磨の古代寺院と造寺・知識集団37飛鳥寺「禅院」の軒丸瓦と播磨」寺岡洋、など。神戸市灘区山田町三一―一
◆ 「兵朝研」161号「あまがさきし」徐根植、「尹達世さんの思い出」高祐二、「長い道は続く〜追悼尹達世氏」高龍弘、「兵庫建青二代目委員長、玄孝燮のこと」金勇秀、など。162号「敗戦時における兵庫在日朝鮮人関係数字」徐根植、「尼崎市内五企業の

【註】

- (1) 花守岱年。俳家。讃岐の人。嘉永五年（一八五二）歿。
(2) 五仲庵有節。本名は沢元衛。信濃生まれ京で宗匠となる。文化二年（一八〇五）生まれ、明治五年（一八七二）歿。
(3) 蟻園岳鳳。京の人。俳人。書を能くした。江戸後期の人。
(4) 朗霞庵古谷か。天明七年（一七八七）生まれ。西脇出身。
(5) 柳の屋風斎。一八〇〇年頃の人。
(6) 幻遊庵魚坊。江戸時代末（一八〇〇～一八五〇頃？）。
(7) 和田魚水。江戸時代末の人。枯魚堂三世。
(8) 小賣庵雄領。江戸時代末・明治時代初。
(9) 鶴田卓池。三河生まれ。弘化三年（一八四六）歿。
(10) 桜井梅室。金沢生まれ。芭蕉一門。播州に逗留。明和六年（一七〇九）～嘉永五年（一八五二）。
(11) 田能村直入。大分生まれ。画家。播州へ度々足を運ぶ。文化十一年（一八一四）～明治四十一年（一九〇七）。
(12) 僧、俳人。南禪寺・東福寺の住持を務めた。安永二年（一七七三）～弘化四年（一八四七）。
(13) 久保島若人。信州高島藩士の子。明和二年（一七六五）～嘉永四年（一八五二）。
(14) 河野可轉か。甲斐の人。
(15) 甲斐の人。鶴田卓池門人。
(16) 窪田漣山。沼津の人。本名窪田半十郎司直。嘉永元年（一八四八）。桜井梅室から「俳閥」の書と印を与えられる。落款押印有り。文化六年（一八〇九）？～明治元年（一八六八）。
(17) 佐野蓬宇か。三河出身。明治二十八年（一八九五）歿。
(18) 甲斐の新田雲里。僧。安政七年（一八五七）歿。
(19) 柴秋邨。本名は柴莘。徳島生まれ。幕末の儒者。明治二年